



山武市の行政問題と地域情報を伝えるローカルネットメディア

山武市議会

1/4の議員が不同意

嘉瀬尚男教育長再任に

教育委員会会議で議決前の小中学校統廃合計画案のリリースを市内全戸配布した問題で、市民団体などから不同意を求める内容の陳情が提出されていた嘉瀬尚男教育長再任の同意人事が、平成二十八年六月三日、山武市議会本会議において賛成十六、反対五で可決された。

通常本会議での審議は省略される人事案件で、質疑一、反対討論一、賛成討論一という異例の審議となった。

冒頭に八角八二議員(さんむ)は「地教行法改正に伴い権限の強化される教育長の任命において、議会で所信表明を行った上で質疑を行うなど丁寧な手続きを行うことを定めた文科科学省の通知に対して、市長はどの様に考えるのか」と質疑した。これに対し椎名市長は「嘉瀬教育長のこれまでの実績で十分である」との見解を示した。

並木幹男議員(日本共産党)は、議決前のリリースを全戸配布した問題の他、計画策定過程の問題などを理由とした反対討論を行い、それに対して長谷部竜作議員(公明党)は嘉瀬教育長の二年間の実績などを強調した賛成討論を行った。

教育長任命の同意人事に対して、実に四分の一の議員が反対に回るのは異常事態ともいえ、オリンピック・パラリ

嘉瀬教育長再任案
採決の状況
賛成
反対

共産	さんむ	新政会			公明党		未来研			さんむ21			平成会								
		八角	宍倉	大川	大塚	長谷部	市川	本山	並木	小川	能勢	加藤	石川	萩原	高知尾	小野崎	今関	越川	和田	小川	行木
並木	幹男	弘康	義男	重忠	竜作	陽子	英子	一寅	良一	秋吉	忠勝	和久	善和	正義	正喜	恒	哲	喜治	吉孝	三郎	善郎

ンピックキャンペーン招致や小中学校統廃合計画など、今後の山武市の教育行政運営にどの様な影響を及ぼすのか、また「最も市長寄り」(議会関係者談)といわれていた最大会派の平成会が、椎名市長による任命人事に三対三と真つ二

つに割れる展開となったことで、今後の山武市政の運営にどの様な影響を及ぼすのか注視する必要があるようだ。



嘉瀬教育長再任の賛成討論を行う、公明党長谷部議員

嘉瀬教育長、議会前日に情報操作か?

嘉瀬尚男教育長が、東京都生活文化局などが科学的根拠を否定している「波動水」を教育委員就任後も販売していた問題で、議会での再任人事案採決前日の六月二日、「潜在意識リーディング協会」のホームページから嘉瀬氏が千葉県で唯一の「認定オペレーター」であり、二〇〇八年(〇九年頃まで)同協会の理事長を務めていた記述が削除されていたことが確認された。

「波動水」は「人間のある種の情報を水に転写したものと説明されているが、公共機関や様々な書籍によって科学的根拠のない「擬似科学」であることが指摘されている。

数年前に、小学校の道徳で「水によい言葉を見せると、きれいな結晶に、悪い言葉を見せると汚い結晶ができる」とする「水からの伝言」という「擬似科学」本が副教材として使用され問題となった。小中学校で使用する教科書

は教育委員会が選定し、副教材の選定にも監督権限を持つが、山武市において教育長がこのような「擬似科学」の信奉者であり伝道者であることは、小中学生の子を持つ父兄にとつて大きな不安要素であることに間違いない。嘉瀬教育長が代表を務めていた山武市植谷にある(有)カネスエの店舗には、現在でも「波動プラザカネスエ」の看板が掲示されている。



波動プラザ カネスエ
嘉瀬 尚男

あなたがあなたであるために。
波動リーディングを通じて本当の自分を知るお手伝いをします。あなたにとって必要な情報を持った波動水は身体のバランスをとるだけでなく、内面の変化をもたらします。
今、何かを感じたあなたには、きっとお役にたてるでしょう。ご予約をお待ちしています。
ありがとうございます。感謝。

嘉瀬氏の自己紹介文(「波動リーディングサロン東京」HPより:現在は閉鎖)

嘉瀬氏が販売していた「波動水」
240ml入り2本 ¥21,000

PC・タブレット・スマホで

山武ジャーナル

検索



山武市小中学校統廃合計画案

市民向けの説明と異なる実態

山武ジャーナルは、山武市教育委員会の議決機関としての法的根拠のある「教育委員会協議会」とは別に、非公開で実施されている「教育委員会協議会」の会議録を入手した。

そこには、市民に対して行っていた説明とは全く異なる小中学校統廃合計画案策定の過程が記録されていた。

議決前に配布され問題となつた基本計画案のリーフレットには、

山武市教育委員会では、今後の学校規模の適正化と適正配置のあり方についての基本的な考え方をとりまとめた「山武市立

小中学校の規模適正化・適正配置基本方針」【素案】を平成二十七年二月に策定しました。

この基本方針について、保護者、地域の皆様を対象に「意見を聴く会」の開催、また、各園・小中学校ごとに「説明会」を開催し、意見交換を行なつてまいりました。

平成二十七年十一月、基本方針を成案とし、保護者及び地域の皆様との意見交換等の結果を踏まえ、統合の優先順位や年次計画等、今後の方向性をまとめた「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画（案）」を策定しました。

とあるが、この説明にある平成二十七年十一月に成案となつた「基本方針」で示されていたのは統合する学校の組み合わせ

「今後の課題」として成東中と成東東中については、成東中の校舎建て替え、成東東中を鳴浜、南郷、緑海の統合小学校として使用検討、成東中建て替え時期・場所、学校位置について保護者や地域住民などと十分協議。



教育委員会協議会 会議録

合わせのみで、統合後の学校の位置や時期については示されていない。

・成東東中を鳴浜、南郷、緑海の統合小学校として使用検討。
 ・成東中建て替え時期・場所、学校位置について保護者や地域住民などと十分協議。
 ・使われなくなる学校施設及び跡地の利活用については地域住民と十分協議。

市民の声は届くのか？ 協議会での委員の発言

基本方針の素案が示された後に市内各学校で「意見を聴く会」が開催されたが、その結果に対して非公開の協議会で各委員がどのような発言をしていたのか、会議録から抜粋する。

あった。子どもはその三年間はどうか思ったのかと思った。親は三年間地域（蓮沼）に守られて良かったといっていたが、子どもにとってはとても辛かったのだからと思う。もし、クラス替えができれば登校できたかもと、その保護者に対しては逆の思いをした。

○委員（前）…統合を是とする人はわざわざ土日にものを言おうとは思わないと思う。反対の人は、一言言おうと来るのだと思う。

○委員（前）…最初にやった中学校区単位の説明会より小学校単位の方がいい。中学校単位だと反対の人が多く集まってしまう。反対の人たちの声は大きい。この形がいい

小野崎委員…私は、今、素案を修正する気はない。

今関委員…基本的なことを聞いてもいいですか。素案と成案はどう違いますか。

今関委員…成東中の人たちの考え方には、古いまま我慢してそこにいるか、成東東中にいくか、どっちか。どっちにするみたいな感じになるということですか、極端な話。

山武市の小中学校統廃合計画は、このような議論が進められている。

これらの発言が確認できる協議会会議録は、追ってインターネット上の山武ジャーナルで公開する予定である。

基本方針策定の裏で進められていた計画案

椎名千収市長



「成東中学校を一切直さないようにしたほうがいいかもしれない。」
 *平成27年12月21日
 総合教育会議での発言

椎名市長の意向

どの学校を残すのか。
 どの学校を建て替えるのか。
 どの学校を閉校にするのか。

総合教育会議（市長招集）
 教育委員会協議会（非公開）



山武市HPより
あり方検討委員会答申



基本方針

意見を聴く会は「基本方針」に対して実施された。

平成27年
11月25日
議決



基本計画案 = 椎名市長案

平成28年
1月20日
議決

*配布は
1月15日

成案となつてから僅か二ヶ月後の平成二十八年一月二十日に議決された計画案では、基本方針で「保護者や地域住民と十分に協議する」とされた成東中、蓮沼中などを閉校とする内容が唐突に示された。これは「基本方針」と「計画案」の策定が、別々のルートで進められていたことを示している。

実際に、基本方針が成案となる一ヶ月前の十月二十一日